

都祁公民館だより

発行 公益財団法人奈良市生涯学習財団
 奈良市都祁公民館
 奈良市針町2191番地
 TEL/FAX 82-1362
 発行責任者 岡本胤継
 編集責任者 植田 隆

都祁の方言調査報告会

館長 岡本胤継



十一月三日の「つけまつり」で、方言調査の報告会がありました。奈良東部周辺地域と比較する形で、都祁の特色が見えてきました。

三重の方言と奈良の方言の間地点が山添ならば、都祁は奈良方言の防波堤と言える地域です。

近年は、大阪の方言が入ってきて旧来の言い回しに変化してきていますが、東部地区のように京都方言の影響は小さい様です。

音韻は、一音節語の長音化、サ行音とハ行音の入れ替わり現象、ザ行音とダ行音またはラ行音の入れ替わり現象があります。

表現法では、打ち消しに「ン」ではなく「ヘン」を用いたり、使役表現に「ス」「ヤス」「サス」などを用いたりします。待遇表現では、「ハル」「ナハル」「ヤハル」「ヨル」の補助動詞を用います。

- 調査項目では、「カカト」↓
- ①カガト ②カカト ③オゴシ
 - 「クルブシ」↓①クルブシ
 - ②ウメボシ ③グリボシ
 - 「ケイレン」↓①コブラガエリ
 - ②ツル ③コムラガエリ
 - 「モノモライ」↓①メバチコ
 - ②メーボ ③メボ
 - 「サトイモ」↓①サトイモ
 - ②タダイモ ③ドロイモ



が頻出しました。七十年代の調査と比較すると、「オゴシリ」が「カガト」「クルミ」が「クルブシ」「コブラガエリ」が「コムラガエリ」「メボ」が「メバチコ」「ズイキイモ」が言わなくなったというような変化が見られます。

商品流通関係で、大阪の言葉の影響を受け、変化したと考えられます。

最後に、「つけまつり」という、交流イベントの中で、調査結果を広くお伝え出来た事を嬉しく思います。

今年の「つけまつり」は、1日目にもお店を出していただき、発表が終わった子ども達が行列をなしていました。

地域の中だけで行うイベントから、奈良市全域に発信できるような体制を構築し、今後に繋げていただければ、良いかと思えます。勿論、内容の充実も必要でしょう。また、運営体制作りも再考が必要でしょう。しかし、地域の為に継続し、都祁の文化を後世に伝えていただきたいと祈念致します。

公民館主催講座のご案内

つけ体験セミナー

護身術

自分の体を自分で守る、護身術を体験してみよう。

日時：平成31年1月19日(土)
 午後1時30分～3時まで

場所：都祁公民館 実習室
 持ち物・服装：お茶、タオル、運動靴、運動できる服装

参加費：無料
 参加対象：成人

護身術を学ぼう

小・中学生と高校生を対象にして、護身術を学びます。

自分の身を自分で守る術を体験してみませんか。

日時：平成31年1月26日(土)・2月2日(土)
 午後1時30分～3時まで

場所：都祁公民館 実習室
 持ち物・服装：お茶、タオル、運動靴、運動できる服装

参加費：無料
 参加対象：小学生、中学生、高校生

ふ千田舎暮らし アクティフシニア農業体験

サツマイモ収穫と都祁産野菜で料理

○耕耘機に挑戦

6月に植えたサツマイモが大きくなりました。サツマイモは、十月二十日に収穫しました。

午前中、2班に分かれ作業をしました。畑でサツマイモのつるを切る班、福祉センター厨房で昼食を作る班です。食材は、都祁産の野菜を使った料理です。

サツマイモのつるの切りも終わり、福祉センターに戻ると、昼食もできていました。



午後は、サツマイモの収穫と、耕耘機で耕す体験をしました。



玉ねぎの植え付け

最後の作業は、玉ねぎの植え付け作業です。

畑を、熊手で整地します。穴あきマルチを敷き、テープで押さえます。マルチのふちに土をかけ、苗を植え、肥料をやります。



こんな講座がありました！（公民館主催講座）

おやこでチャレンジ

（星空観察）

朝晩が涼しくなってきた都祁の里で
おやこで星空観察をしました。
残念ながら曇り空で夜空の観察はで
きませんでした。

奈良県立野外活動センターの方が、
星座のスライドを準備してくださり、
星の話をしてくださいました。



都祁散策

神さんの里帰り

昨年悪天候で実施できなかった散策
を行いました。今年は天候に恵まれ秋
空のもとで、神さんの里帰りと周りの
史跡を見学することができました。
神さんが里帰りしておられる山口神
社に向かう途中で観音寺を見学しまし
た。山口神社を見学し、神輿について
福祉センターで、昼食休憩しました。



山口神社の神輿



福祉センターへ

神輿が福祉センターを出発する前に
水分神社と小治田安萬侶の墓を見学し
ました。



お迎え前の水分神社



小治田安萬侶の墓

再び福祉センター
に戻ると、神輿の出
発の準備ができてい
ました。

出発を見送り、解散
し、その後、自由見
学しました。



キッズつけざい

干し柿づくり

今日は、正月飾りにも使われる、干
し柿づくりに挑戦しました。
ピーラーや包丁を使って柿をむきます。
むけた柿をひもにつるします。
沸騰したお湯に、およそ十秒ほどつけ
ます。これを日陰で乾燥させればでき
ます。これを日陰で乾燥させればでき
ます。



あがりです。
小さな柿は、十個
つるしました。
大きな柿は、三
個つるし持ち帰り
ました。
出来上がるのが
楽しみです。

つけ体験セミナー

秋季寄せ植え

秋も深まった十一月二十四日に、秋
寄せ植えを行いました。講師は、奈
良市月ヶ瀬の花農家、西森先生です。
いつものように、ハウスで栽培した
ポット苗をたくさん使い、寄せ植えを
していきます。

パンジー、キンギョソウ、ノースポ
ール、ピオラ
などを丁寧に
植えていきま
す。

思い思いに
完成した作品
を先生に見て
もらいました。



奈良食文化体験

ほがしわ弁当と大和雑煮

奈良食文化研究会より講師をお
招きして「ほがしわ弁当と大和雑煮」
の講座を開催しました。

せっかくの機会ですので、作って食
べるだけではなく、奈良の食文化や食
を通して地域の歴史
文化についてのお話
をしていただきまし
た。おいしく、ため
にもなり、お腹も、
心も満腹になりました。
楽しい事業とな
りました。



楽しみます。

大和未生流

月々の作品



◆冬至とかぼちゃ柚子湯◆
今年の冬至は12月22日です
冬至については様々な言い
伝えや風習が残されています。
「かぼちゃ」を食べて「柚子
湯」に入る習慣があります。
かぼちゃを食べるのには、
中風や風邪予防のためと言わ
れています。昔は冬至の頃ら
になると秋野菜の収穫も終わ
り、食べられる野菜は少なく、
そこで元気に冬を越せるよう
にと、栄養があって保存がで
きるかぼちゃを大切にしてい
たようです。緑黄色野菜の少
ない冬にカロチンやビタミン
を多く含むかぼちゃを食べ、
風邪の備えにしたのでしょう。
先人の知恵だと言えます。